

令和6年度まちづくり達成状況報告書（総括シート）



① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	Ⅲ 学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	1. 学校教育を充実し、次世代を育てる 2. 生涯を通じた学習活動を促進する

② 施策と関連部署

施策	施策内容：事務事業名（関連シート No.）	関連部署
学校教育	・教育内容の充実：教育内容充実（No.37） ・部活動の地域移行の推進：部活動の地域移行事業（No.38） ・教育環境の充実：学校情報化と GIGA スクール構想の推進（No.39）、理科等教育設備整備事業（No.40）、 学校図書館の充実（No.41）、学校施設維持管理・通学路の安全確保（No.42） ・小中学校の適正配置の推進：市立小中学校の適正配置の推進（No.43） ・安全・安心な公立幼稚園の運営：公立幼稚園運営事業（No.44） ・学校給食の充実：地場産物活用事業（No.45） ・特色ある教育の推進：特色ある教育の推進（No.46）	指導課、 生涯学習課、 学校教育課、 学校給食センター
青少年健全育成	・青少年健全育成の推進：青少年健全育成活動事業（No.47） ・社会参加の推進：青少年健全育成事業（No.48）	生涯学習課
生涯学習	・生涯学習環境の充実：生涯学習事業（No.49） ・社会教育施設の整備：公民館運営管理事業（No.50）、内守谷公民館建設事業（No.51） ・図書館活動の推進：図書事業の推進（No.52）	生涯学習課、 図書館
スポーツ振興	・スポーツ環境の充実：各種施設管理事業（No.53） ・スポーツ指導者・活動団体の支援：スポーツ団体支援事業（No.54） ・スポーツ活動の促進：スポーツ教室開催事業（No.55）	生涯学習課
地域文化	・地域文化の継承：文化財保護事業（No.56） ・地域文化の活用：文化振興事業（No.57） ・郷土愛の醸成：文化振興事業（No.58）	生涯学習課

③ 主要成果指標

① 学校に行くのが楽しいと思っている児童・生徒の割合【単位：％】（No.37・39・40・41・43）	（概要）
2021 年度：小学校 85.9 中学校：76.3 2023 年度：小学校：81.2 中学校：83.5 2024 年度：小学校：80.8 中学校：84.1 2027 年度目標：小中学校：90.0 ICTを活用した課題解決型の学びによる「わかる授業」の展開や、オンライン授業をきっかけとした不登校の解消などにより、学校に行くことを楽しいと思う児童・生徒の増加を目指します。	〈取組〉児童生徒が学校に行くのが楽しいと思うことを目指し、教職員が「楽しくわかる授業」を実践できるよう、学校訪問等において指導助言を行いました。また、教職員研修（JOSO 教員アカデミー）を3回実施し、教職員の資質・能力の向上を図りました。 〈方向性〉すべての児童生徒が楽しく安心して通え、もっている力を十分に発揮できる魅力ある学校・学級づくりを基盤とし、児童生徒にとって「楽しくわかる授業」を教職員が実践できるように指導助言を継続します。また、放課後補習教室（常総ほっとスタディ）の実施により、児童の基礎学力の定着を図ることで、学習が苦手な児童への支援も大切にします。
② ICT を活用できる教員の割合【単位：％】（No.39）	（概要）
2021 年度：71.6 2023 年度：89.6 2024 年度：84.2 2027 年度目標：100.0 近年、教育現場への ICT 導入が急速に進んだことに伴い、教員の ICT 活用指導力の向上が求められています。本市でもスキルアップの機会を充実させることで、全ての教員が授業で ICT を効果的に活用できる状態を目指します。	〈取組〉教員に向けた ICT 研修の実施や授業支援ツールの本格導入を行いました。 〈方向性〉教員が日常的に ICT を使った授業を行う土壌である「1 人 1 台端末」等学校 ICT 環境を負荷なく使いやすく再構築するとともに、更なる ICT の活用能力を図るため、生成 AI の活用等先進事例の周知や授業で活用するデジタルドリルや授業支援ツールの研修等を継続して実施します。 また、教育委員会全体で ICT をより活用していくことは、教員自身の働き方改革にも寄与するものであり、更なる教育現場の質向上に繋げていきます。
③ 市が主催する生涯学習講座及びスポーツ教室の延べ参加者数【単位：人】（No.49・55）	（概要）
2021 年度：1,926 2023 年度：1,047 2024 年度：845 2027 年度：2,100 市民が生きがいのある暮らしや健康的な生活を送れるよう、さまざまなニーズに対応した活動機会を提供することで、生涯学習やスポーツ活動に取り組む市民の増加を目指します。	〈取組〉参加率の向上を図るため、市民ニーズに対応し、開催内容や時期等を精査し、定期的に見直しを実施しながら講座、教室を開催しました。 〈方向性〉子どもから高齢者まで多くの市民が参加できる機会を創出し、生涯学習、スポーツ人口のすそ野を広げるため、市内の指導者の活用や指定管理者との連携強化に努め、クオリティ向上を図り、参加者の文化活動や健康維持・増進に貢献できる高品質な講座、教室の継続に取り組んでいきます。